

明石ともしび会家族会のあゆみ

私ども家族会は『精神的疾患があるために、日常生活、社会生活に制限を受ける人』の家族の会として、明石市唯一の団体として、昭和 62 年より活動を続けてまいりました。

私どもの歩みをⅢ期に分けてみました。

第Ⅰ期

昭和 63 年 10 月、精神障害者を家族に持つ家族が集まり、ともしび会ファミリーサークルを結成しました。

保健所の呼び掛けにより、障害者の社会生活の第一歩として、平成 2 年 10 月に『コスモス共同作業所』を創立。

家族会全員で作業所を運営し、精神障害者の居場所が出来ました。

その後、明石市から正式に補助金が出され、職員を雇っての作業所の運営が始まりました。

平成 10 年 12 月に『ふれあい作業所』、平成 14 年 4 月に『さくら工房』の作業所が出来ました。

第Ⅱ期

平成 18 年に NPO 法人に移行すべく、調査・活動を開始し、平成 20 年 7 月に『NPO 法人明石ともしび会』を立ち上げました。

第Ⅲ期

平成 22 年 3 月に、さくら工房は、就労継続支援 B 型に移行し、喫茶店 SAKURA を開店し、更に、手芸品等も創作しています。

平成 24 年 7 月に、ふれあい作業所が就労継続支援 B 型に移行し、クッキー、パウンドケーキ作りをしています。



家族会の役割

私たち 家族会は、

- ☆ 家族が集まり自由に話し合える癒される場の提供
- ☆ “親なき後をどうするか”等の従来からの問題解決に向けての取組み
- ☆ 家族会員の精神疾患に対する更なる啓発に向けて、研修会、勉強会等の家族会活動に積極的な参加
- ☆ 他の家族会との交流の促進

を行っています。